

会 議 事 録

1 会議名	平成29年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	平成29年6月30日（金）午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟3階 301会議室
4 出席者名	<p>（委員）中村委員長 山崎委員 高橋委員 楨委員</p> <p>（説明のために出席した関係者）</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 水流理事長 公立大学法人長岡造形大学 和田学長 公立大学法人長岡造形大学 河村副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 中村企画調査室長 公立大学法人長岡造形大学 白崎企画調査室係長 公立大学法人長岡造形大学 五十嵐企画調査室主任 公立大学法人長岡造形大学 野上財務課長 公立大学法人長岡造形大学 草野財務課主任</p> <p>（事務局）長岡市地方創生推進部 渡邊部長 長岡市政策企画課 茂田井課長 長岡市政策企画課 鈴木課長補佐 長岡市政策企画課 林係長 長岡市政策企画課 渡辺主任</p>
5 欠席者名	草間委員
6 議事	<p>（1）平成28年度業務実績報告について</p> <p>（2）平成28年度財務諸表等について</p> <p>（3）役員報酬規程の改正について</p>

7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事（１）について、長岡造形大学と委員の間で質疑応答を行い、今後の評価書作成に反映させていくこととした。 ・ 議事（２）について、長岡造形大学と委員の間で質疑応答を行い、財務諸表の承認は第３回で審議することとした。 ・ 議事（３）について、役員報酬が適正な改正内容であることを確認した。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>ただいまから、平成29年度第１回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。</p> <p>はじめに、渡邊地方創生推進部長からごあいさつ申し上げます。</p>
事務局・地方創生推進部長	<p>（地方創生推進部長あいさつ）</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日、４名の委員からご出席いただいておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第５条第３項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、このたびの評価委員会は長岡造形大学の平成28年度業務実績に関する説明等のため、長岡造形大学の皆さんからもご出席いただいております。</p>
委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。委員長である中村委員に進行をお願いしたいと思います。中村委員長お願いいたします。</p> <p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>議事に入る前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めさせていただきます。山崎委員と楨委員をお願いしたいと思いますと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>（山崎委員、楨委員から了解の発言）</p> <p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>本日の進め方ですが、議事（１）平成28年度業務実績報告書について、まず、大学側から業務実績の自己評価について、どのような評価を行ったのか説明していただき、それについて委員からヒアリングを</p>

<p>長岡造形大学・ 事務局長</p>	<p>行います。</p> <p>次に議事の（２）平成28年度財務諸表等について、大学側から財務諸表等の説明をしていただき、それについて委員からヒアリングを行います。</p> <p>その後、大学関係者には退席していただき、委員の間で評価について審議を行いたいと思います。</p> <p>最後に、議事（３）役員報酬規程の改正について、事務局から説明をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、議事の「（１）平成28年度業務実績報告について」、大学側から業務実績の自己評価について説明をお願いします。</p> <p>（資料１・参考資料集に基づいて説明）</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>議事（１）について、大学側から説明をしていただきました。</p> <p>委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>平成29年度入学試験の志願者数が増加しており、とても素晴らしいと思いますが、どのような取り組みを行ったのか教えてください。</p>
<p>長岡造形大学・ 事務局長</p>	<p>県内については、県内公立高校校長OBを採用し、県内の高校をくまなく訪問してヒアリング調査などを行いました。また、県外については、九州、四国、関西などで進学相談会や高校訪問などに取り組みました。</p>
<p>委員</p>	<p>今後も安定的な定員確保や志願者数の確保に向けて、取り組みを進めていただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>全国の大学をランキングにした書籍の中で、長岡造形大学の収入獲得率が高くなっていました。健全な財政運営に向けて努力されている点を評価いたします。</p>

<p>長岡造形大学・ 副理事長</p>	<p>質問ですが、業務実績報告書の32ページで、人事考課制度に関する項目をc評価と自己評価された理由を教えてください。</p> <p>特に教職員の評価方法を確立するのに苦慮しています。様々な事例を参考に納得性のある評価手法を確立したいと検討しましたが、年度計画の目標達成までには至らなかったと自己評価しました。</p> <p>平成29年度に企画調査室を立ち上げましたので、関係部局と連携して評価方法等を検討してまいります。</p>
<p>委員</p>	<p>同じく37ページの危機管理マニュアルの整備もc評価となっています。中越地震などを経験していることを考えると大事なところだと思いますが、どのように考えていますか。</p>
<p>長岡造形大学・ 理事長</p>	<p>危機管理マニュアルの整備については、平成27年度で素案を作成しております。平成28年度の年度計画では、素案に肉付けをして完成させることを目標としていました。しかし、組織体制や人員配置など検討体制を十分に整備できなかった結果、完成までもっていくことができませんでした。</p> <p>危機管理マニュアルの整備は、最も基礎の部分ですので、平成29年度は、新たに立ち上げた企画調査室を中心に、完成に向けて取り組んでまいりたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>32ページの人事考課制度について、どのような制度の構築を考えているか教えていただきたいと思います。</p>
<p>長岡造形大学・ 事務局長</p>	<p>教職員の評価については、研究や地域貢献など様々なことを加味しながら判断しなければならないため、評価手法を確立するのが難しいと感じています。現時点としては、他大学などの取り組み事例などを情報収集しながら、総務課や企画調査室などと連携しながら本学の評価制度を検討している段階です。</p>
<p>長岡造形大学・ 理事長</p>	<p>まずは、それぞれの教員がどのような取り組みを質的・量的にしているのかを客観的に把握して、見える化することが先ではないかと考えています。そのうえで、教員が納得感を得られるような評価制度を時間をかけて構築していく必要があるのではないかと考えています。</p>

委員	日本にデザイン系の大学がいくつかある中で、長岡造形大学がどのような構想を持って大学院改革を実施しているのか教えてください。
長岡造形大学・ 学長	アート教育をする学生よりも、デザイン教育をする学生を多く受け入れているところが、本学の特徴の一つです。本学としては、デザインをアートだけに限定せず、多様な捉え方のもとに、社会でどのように貢献できるかを考えたいと思っています。そうしたことから、大学院にイノベーション領域を設けて、デザインシンキングにより、新しいものを生み出していきたいと考えています。
委員	もう一つお聞きしたいのですが、アトリエ棟の増築について、自己評価で a 評価にされた考え方を確認させてください。
長岡造形大学・ 学長	限られた時間と予算の中で、当初想定していたよりも機能性や快適性などを充実させることができ、とてもよい施設を整備することができたとして自己評価しています。
委員長	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。
委員	教員の満足度はどのように捉えていますか。
長岡造形大学・ 学長	公立化によって学生の教育水準も向上しており、理解度も高くなっているため、教育する喜びを感じている教員が多いと感じています。
長岡造形大学・ 理事長	教員がゆとりを持って教育できるように、健全経営に取り組みながら、教員の適正数を確保するなど、さらなる満足度の向上を目指していきたいと考えています。
委員長	ありがとうございました。 次に、議事（2）平成28年度財務諸表等について、大学側から説明をお願いします。
長岡造形大学・ 事務局長	（資料 No. 2、3、4、5に基づき説明）
委員長	議事（2）について、大学側から説明をしていただきました。委員

	<p>の皆様からご意見等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>財務諸表の２ページにある「損益外減価償却累計額」について、教えてください。</p>
<p>長岡造形大学・ 財務課長</p>	<p>公立大学法人の財産的基礎を成す土地と建物については、自治体が出資をすることになっており、貸借対照表の資本金に計上されています。公立大学法人の会計では、自治体が出資した建物の減価償却費は、自治体が負担すべき費用として損益計算書に計上されない損益外費用となります。そのため、貸借対照表において、マイナス額で計上され、自治体の出資金相当分を控除する仕組みになっています。</p>
<p>委員</p>	<p>キャッシュフローで約２億円減少していますが、毎年減少していくものか、時には増えたりするものですか。</p>
<p>長岡造形大学・ 理事長</p>	<p>開学から２０年以上が経過しており、建物を計画的に修繕していかなければいけない時期にきています。今後も、長期修繕計画に基づいて建物の修繕等を行っていく予定のため、減少が続く見込みです。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>特に意見等がなければ、財務諸表等の承認については、８月の業務実績評価の最終審議時に承認したいと考えております。</p> <p>それでは、長岡造形大学の方には、ここで退席していただき、委員の間で評価について審議を行いたいと思います。</p> <p>長岡造形大学のみなさん、ありがとうございました。</p> <p>【大学関係者 退席】</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、委員の間で意見交換を行いたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>新聞やテレビなどにもよく取り上げられていて、一生懸命に取り組まれている良い印象があります。</p>
<p>委員</p>	<p>前年度 c 評価であった大学院改革については、大学側が自己評価で a</p>

委員	<p>評価をつけているとおり、受け入れ体制の整備などに着実に取り組んでいると感じました。</p> <p>危機管理マニュアルの整備については、大学側が自己評価でc評価をつけていますが、長岡造形大学が地域に密着した大学でもあるため、地域に貢献する意味でも早期の策定に期待したいと思います。</p>
委員長	<p>それではこれで、委員間の意見交換を終えたいと思います。</p> <p>事務局は、今日の内容を踏まえて評価書案の作成を進めてください。</p> <p>続いて、議事（3）役員報酬規程の改正について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・政策企画課長	<p>（資料 No. 6 に基づき説明）</p>
委員長	<p>議事（3）について、事務局から説明をしていただきました。委員の皆様からご意見等ありましたらお願いします。</p> <p>特に意見がなければ、評価委員会として「意見なし」としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
委員長	<p>それでは、これにて議事を終了します。</p> <p>進行を事務局にお返しします。</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>中村委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4その他について、事務局からご連絡します。</p>
事務局・政策企画課長	<p>（次回の評価委員会について説明）</p>
事務局・政策企画課課長補佐	<p>これにて「平成29年度第1回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。</p>

9 会議資料

- 次第・出席者名簿
- 資料1 「公立大学法人長岡造形大学 平成28年度 業務実績報告書」
- 資料2 「公立大学法人長岡造形大学 平成28年度 財務諸表」
- 資料3 「公立大学法人長岡造形大学 平成28年度 事業報告書」
- 資料4 「公立大学法人長岡造形大学 平成28年度 決算報告書」
- 資料5 「監査報告書」
- 資料6 「公立大学法人長岡造形大学役員報酬規程の改正について」
- 平成28年度業務実績報告書 参考資料集